

## 安全データシート

作成日: 2023年10月23日

## 1. 製品及び会社情報

化学品の名称  
推奨用途  
会社名  
住所  
電話番号

トリエチレングリコール  
試験研究用  
米山薬品工業株式会社  
大阪府中央区道修町2丁目3番11号  
(06)6231-3555(大阪・本社)  
(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)  
(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)  
DE0087

整理番号

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類  
健康に対する有害性

皮膚腐食性及び皮膚刺激性: 区分2  
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性: 区分2B

## ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語  
危険有害性情報

警告  
皮膚刺激  
眼刺激

注意書き

【安全対策】  
取扱後はよく手を洗うこと。  
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】  
皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。  
皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。  
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。  
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。

【保管】  
容器を密閉し、涼しく換気の良いところで保管すること。  
施錠して保管すること。

【廃棄】  
内容物、容器を国又は都道府県の規則に従って廃棄すること。  
該当情報なし。  
可燃性  
該当情報なし。

重要な危険有害性及び影響  
特有の危険有害性  
GHS分類区分に該当しない他の危険有害性  
重要な徴候及び想定される非常事態の概要

## 3. 組成、成分情報

化学品・混合物の区別  
化学名  
化学式  
CAS RN  
成分及び含有量  
官報公示整理番号(化審法、安衛法)  
GHS分類に寄与する不純物及び安定化化合物

化学品  
トリエチレングリコール  
 $H(OCH_2CH_2)_3OH$   
112-27-6  
トリエチレングリコール100%  
(2)-429  
該当情報なし。

## 4. 応急措置

## 吸入した場合

被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。

## 皮膚に付着した場合

皮膚を速やかに洗浄すること。

医師の手当て、診断を受けること。

## 眼に入った場合

気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

## 飲込んだ場合

気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。

口をすすぐこと。

予測できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状  
応急処置をするものの保護  
医師に対する特別な注意事項

気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。

該当情報なし。

救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用すること。

安静と医学的経過観察が必要。

## 5. 火災時の措置

## 消火剤

粉末消火剤、耐アルコール性泡消火剤、二酸化炭素、砂、噴霧水  
棒状放水

## 使ってはならない消火剤

## 特有の危険有害性

加熱により容器が爆発するおそれがある。

## 特有の消火方法

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

## 消火を行う者の保護

消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

## 6. 漏出時の措置

## 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。

関係者以外の立入りを禁止する。

作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止措置及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけません。

漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用する。

風上に留まる。

低地から離れる。

密閉された場所は換気する。

## 環境に対する注意事項

河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

環境中に放出してはならない。

## 封じ込め及び浄化の方法及び機材

水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。

回収、中和：漏洩物を掃き集めて密閉できる空容器に回収し、後で廃棄処理する。

少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。

危険でなければ漏れを止める。

すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

## 取扱い

## 技術的対策(局所排気、全体換気等)

『8. 暴露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

『8. 暴露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。

取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

## 安全取扱注意事項

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

火気注意。

接触、吸入又は飲み込まないこと。

空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

環境への放出を避けること。

『10. 安定性及び反応性』を参照。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。

取扱い後は手などをよく洗うこと。

接触回避  
衛生対策

保管

安全な保管条件

保管場所は屋根を不燃材料で作るとともに、金属板その他の軽量な不燃材料でふき、かつ天井を設けないこと。

保管場所の床は、床面に水が浸入し、又は浸透しない構造とすること。

保管場所の床は、危険物が浸透しない構造とするとともに、適切な傾斜をつけ、かつ、適切なためますを設けること。

保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。

酸化剤から離して保管する。

施錠して保管すること。

ガラス、スチール

容器包装材料

## 8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度

未設定

許容濃度

日本産業衛生学会

未設定

ACGIH

未設定

設備対策

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

高熱工程でミストが発生するときは換気装置を設置する。

保護具

呼吸器の保護具

呼吸用保護具を着用する。

手の保護具

適切な保護手袋を着用すること。

目の保護具

保護眼鏡やゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣を着用すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

外観(物理的状態、形状、色等)

無色の粘調性液体

臭い

無臭

臭いの閾値

該当情報なし。

pH

該当情報なし。

融点・凝固点

-7.2°C(凝固点)

沸点、初留点及び沸騰範囲

287.4°C

引火点

174°C(開放式)

蒸発速度

該当情報なし。

燃焼性(固体、気体)

非該当(液体)

燃焼又は爆発範囲の上限・下限

0.9~9.2vol/%

蒸気圧

0.02Pa(20°C)

蒸気密度

5.2(空気=1)

比重(相対密度)

1.1254(20°C)

溶解度

水に非常によく溶ける。

n-オクタノール/水分配係数

log Kow=-1.7

自然発火温度

371°C

分解温度

該当情報なし。

粘度(粘性率)

該当情報なし。

## 10. 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性

通常の手扱いにて安定

危険有害反応可能性

強酸化剤、塩基と反応する。

避けるべき条件

裸火、高温、混触危険物質との接触

混触危険物質

強酸化剤、強塩基

危険有害な分解生成物

燃焼により刺激性又は有毒なガス(一酸化炭素)を発生する。

## 11. 有害性情報

## 急性毒性

経口 : ラットのLD50値17,000g/kg より区分外とした。

## 皮膚腐食性及び皮膚刺激性

経皮 : データ不足のため分類できない。

ヒトでのパッチテストで小限性の刺激がある(SIDS)という記載より区分2とした。

## 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

ウサギの実験で眼に軽度の刺激性がある(SIDS)という記載より区分2Bとした。

## 呼吸器感受性又は皮膚感受性

呼吸器 : データ不足のため分類できない。

皮膚 : 皮膚感受性を誘発しなかった(SIAP)という記載があるが、データ不足のため分類できない。

## 生殖細胞変異原性

細菌による変異原性試験及び哺乳動物細胞によるin vitro変異原性試験が行われ、いずれも陰性であった(SIAP)と記載がある。データ不足のため分類できない。

## 発がん性

数件の試験において動物における発がん性の証拠はなかった(SIAP)という記載があり、データ不足のため分類できない。

## 生殖毒性

継世代プロトコールによる生殖毒性評価では影響はみられなかった。また、胎児の体重減少及び骨格の変異があった(SIAP)と記載があるが、データ不足のため分類できない。

## 特定標的臓器毒性(単回暴露)

エチレングリコール及びジエチレングリコールは腎臓毒性を誘発するがトリエチレングリコールでは腎臓に僅かな影響があるだけである(SIAP)という記載があるが、その程度が分からず、データ不足のため分類できない。

## 特定標的臓器毒性(反復暴露)

データ不足のため分類できない。

## 吸引性呼吸器有害性

データ不足のため分類できない。

## 12. 環境影響情報

## 生態毒性

急性 : 甲殻類(ミジンコ)の48時間EC50 =39,000 mg/L(SIDS)より区分外とした。

長期間 : 甲殻類(ミジンコ)の慢性NOEC(28days)=5.5mg(SIDS)より区分外とした。

## 残留性・分解性

該当情報なし。

## 生体蓄積性

該当情報なし。

## 土壤中の移動性

該当情報なし。

## オゾン層への有害性

当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。(分類できない)

## 13. 廃棄上の注意

産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。

## 14. 輸送上の注意

## 国際規制

## 国連番号

該当しない。

## 品名(国連輸送名)

該当しない。

## 国連分類

該当しない。

## 容器等級

該当しない。

## 海洋汚染物質

該当しない。

## 国内規制

消防法の規定に従う。

## 輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

## 応急措置指針番号

該当しない。

## 15. 適用法令

## 化学物質管理促進法(PRTR法)

該当しない。

## 毒物及び劇物取締法

該当しない。

## 労働安全衛生法

該当しない。

## 消防法

第4類引火性液体・第三石油類水溶性液体(第2条第7項危険物別表第1)

## 16. その他の情報

## 参考文献

NITE-CLIP(製品評価技術基盤機構HP)

17423の化学商品(化学工業日報社)

初期評価プロファイル(SIAP)(一般社団法人日本化学物質安全・情報センター)

国際化学物質安全性カード(ICSC)

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。